

ごあいさつ

日本レジャー・レクリエーション学会
第46回学会大会実行委員長 前橋 明
(早稲田大学 教授・医学博士)

本大会のテーマを、「子どものレクリエーション」とし、大会を企画させていただきました。子どもたちの健全育成に何が重要かという話になりますと、サンマ（時間・空間・仲間：3つの間[マ]）と答える方は、非常に多いと思います。子どもの成長にとっては、その3つの要素は必要不可欠ですが、子どもだけでなく、それを奨励する私たち、大人・指導者にも、サンマによる成長が必要です。

今回、日本レジャー・レクリエーション学会第46回学会大会が、本学にて開催されるわけですが、本学会大会に、まず、①時間を調整し、研鑽の時間を捻出してくださいました皆様がいらっしゃる（時間）。そして、②学会発表の場が設けられましたこと（空間）、さらに、本学会大会に、③熱い思いをもった研究者仲間が集ったこと（仲間）が、私たちが成長するためのサンマです。

また、本学会大会を支えるために、自分のことだけを考えるのではなく、仲間や会の成長・発展のためにも、自分がその場に出て参加したり、係を担ったりするだけでも、大きな配慮と協力になると感じて、ご参加くださいました多くの関係者の皆様や学生スタッフの皆様に感謝し、心よりお礼を申し上げます。

しかしながら、サンマが整っていても、やはり、人とのかかわりの中で、良い方向に導く情報の提示や仲間のリーダーシップ、討論などが必要です。心の育ちを応援する心育とも言いましょうか、または、徳育でしょうか。その導きをしてくださるのが、参加者の皆様であり、参加者による討議の時間なのです。

本日から始まる2日間の短い研鑽の場ですが、討議により磨かれた多くの学びや情報を得て、全国各地域におけるレジャー・レクリエーションの発展のために、それらの情報やアイデア、研究知見をもち帰り、人々のために使っていただきたいと願います。

そして、このチャンスを生かし、全国からいらした参加者の皆様の熱い思いや取り組みの姿勢を、私も勉強させていただきたいと思います。これまでの大会を通して、私が皆様から学んだことですが、それは、「いくら知っていることが多くても、学びの多い人・成長する人は、自分の受け皿を少し空にして、人の発表や意見、考え、感想を聞く」ということでした。それが、伸びる秘訣だと思います。私も、皆様方のご発表を、しっかり、拝聴させていただき、少しでも成長していきたいと決意しております。

最後になりましたが、本学会大会に後援をしてくださいました所沢市ならびに所沢市教育委員会様、そして、本大会に駆けつけてくださいました全国からの参加者の皆様、さらには、協賛とご支援をいただきました関連各社の皆様に、心よりお礼を申し上げ、第46回大会を始めさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。